

令和7年度 頼山陽文化講座実施要項

- 1 主 催 公益法人頼山陽記念文化財団、中国新聞社
- 2 共 催 広島県教育委員会
- 3 後 援 広島市教育委員会
- 4 テーマ 「頼山陽エトセトラ」(全5回)

頼山陽の魅力とその周辺について、多方面から語り尽くします。

5 講座スケジュール及び講師と講座内容一覧

回	実施期日・会場	講 師	講座名(仮)	講 座 内 容
1	7月19日(土) マルチメディア スタジオ	湯谷 祐三 氏 (愛知県立大学非常勤講師)	交友関係からみた 頼山陽	様々な資料を読み解き、幅広い交友関係の中から浮かび上がってくる頼山陽の実像を語ります。
2	8月30日(土) マルチメディア スタジオ	岡野 将士氏 (広島県立歴史民俗資料館学芸課長)	菅茶山と頼山陽	菅茶山の廉塾に伝わった資料の中から浮かび上がってくる頼山陽の姿について語ります。
3	9月20日(土) マルチメディア スタジオ	伊藤 大輔氏 (頼山陽史跡資料館学芸員)	頼家と文房具	学者であり文人でもあった頼家の人々にとって不可欠なものであった文房具について語ります。
4	10月25日(土) 研修室A・B	花本 哲志 氏 (頼山陽史跡資料館主任学芸員)	頼山陽と叔父春風	今年没後200年を迎える叔父頼春風と山陽との関係について語ります。
5	11月8日(土) マルチメディア スタジオ	濱野 靖一郎氏 (島根県立大学准教授)	政治理論家・頼山陽	政治思想史の視点から、政治理論家としての頼山陽とその評価について語ります。

6 会場は「広島市まちづくり市民交流プラザ」です。

- ・講義時間は、毎回14:00～15:30とします。
- ・毎回講座終了後、頼山陽史跡資料館の見学及び展示解説を行います。(希望者)

7 定 員 60名(先着順で受け付けます。)

8 資料代等 2,500円(5回分)(全講座受講されない場合でも返金いたしません。)

9 受講申込み

- ① 受講申し込みの受付期間は、6月21日(土)までとしますが、先着順に受け付け、定員に達し次第、受付を締切ります。
- ② 受講希望者は、ハガキ、FAX(082-542-0125)、電話(082-542-7022)又はEメール(info@raisanyou.com)のいずれかの方法で、氏名、郵便番号、住所、連絡先電話番号を知らせてください。(お寄せいただいた個人情報については事業運営の目的以外には使用いたしません。)
- ③ 【申込先】〒730-0036 広島市中区袋町5番15号 公益財団法人頼山陽記念文化財団事務局宛
- ④ 受講決定者には、7月9日(水)までに受講票と資料代等納入のための郵便振替用紙をお送りします。

公益財団法人頼山陽記念文化財団事務局

電話 082-542-7022

ファックス 082-542-0125

Eメール info@raisanyou.com